

## 塗装大作戦 校舎がきれいになったよ～

## ペンキ物語 2つ

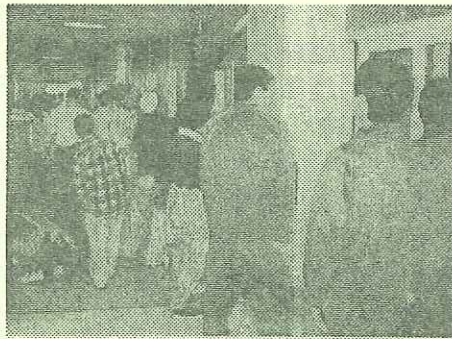
この取り組みは、(1)校舎を明るくして子どもの学習環境をよくする(2)PTAの交流の場、特別にお父さんの力をお借りする(3)子どもたちも参加して、共同の輪を広げようというなかで、生徒、教職員、父母が力を合わせて地域の学校を作っていくことを目指そうとしている。

当日は、午前9時に集合、塗装のプロからローラー・はけの扱い方などのいい指導を受け、全く初めての人でも楽しく作戦に加わることができた。作業は順調に進み、予定の時間を大幅に短縮することができた。

参加者からは「廊下が明るくなった」「楽しい1日だった」「廊下はきれいになったが、天井や階段の汚さが目立つ」「次は天井をやりたい」「また参加したい」などさまざまな感想があった。

この『塗装大作戦』は、学校と地域のさまざまな方の協力があってこそ今回の大成功につながった。

次の『大作戦』もあるらしいので、その時は是非参加してみたいかな。



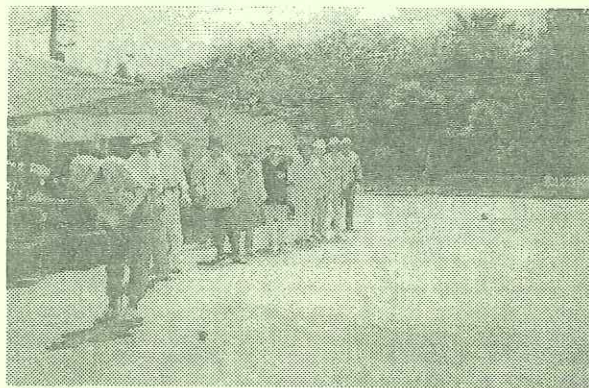
もう2ヶ月前の話であるが、3月28日(日)、菅生中学校のペンキ塗りが行われた。PTAの父母とOB、生徒、先生、地域の賛同者、塗装のプロら総勢180名が参加した。

### たこ公園

### まだらダコ

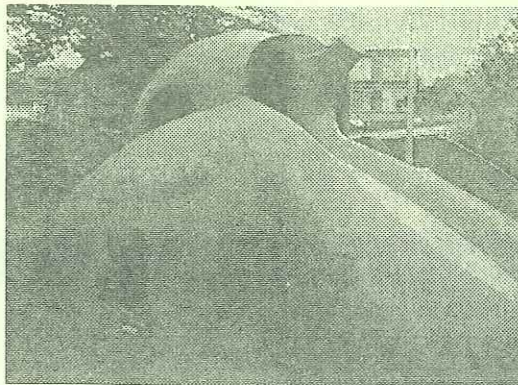
「とらいあんぐる菅生」19号で紹介した『たこ公園』のことを覚えていますか？

今年の2月、当時の菅生中3年生が、『たこ公園』にあるタコの滑り台に書かれているラクガキを消すために、赤いペンキ塗りをしました。ところがその途中でペンキがなくなってしまう、タコはまだらになったままでした。その後、在校生と地域のご協力で、あの「タコ」、今はすっかりきれいに仕上がっているのです。すみからすみまで真っ赤なゆでダコ。今度はもうラクガキされることのないように祈りたいですね。



この空き地をホームグラウンドにしている菅生ヶ丘チーム「興寿会(こうじゅかい)」のリーダーである根本さんによると、3年前からこの土地を使わせてもらい、月水金の9時から午後2時半まで練習するそうで、「ゲートボールは私たちの楽しみ、生きがい、元気の素です」とどこまでもパワフルでした。

年齢を感じさせない皆さんの意気込みに圧倒されたり、ゲートボールの魅力にちょっとひかれたり、楽しいひとときを過ごし、元気をもらって来ました。



## アッ、あき地!



### ゲートボールを楽しむお年寄り

稗原小学校バス停前にちょっとした空き地があるのを知っていますか?昔ながらのあの「空き地」です。「今どき?」と思うかもしれませんが、そこは川崎市の土地で、お年寄りがゲートボールをしたり、子どもたちの恰好の遊び場になっています。五月晴れのある日、訪ねてみました。

### 生きがい、元気の素です

その日は、元気なお老人?いや、少しお年を重ねた方々がゲートボールを楽しんでいるところでした。ちょうど、初山、蔵敷、犬蔵、菅生ヶ丘地区の月に一度の交流試合の日でした。練習試合とはいえ、皆さんの表情は真剣そのもの。お互いに指示を出しながらの緊張感あふれる試合でした。朝9時から昼食をはさみ熱戦は夕方4時ころまで続くとのこと。各チームともメンバーは80歳代から90歳代が中心という頼もしさ。つまり60歳、70歳代はまだまだハナタレ小僧ってところ。

菅生中学校区地域教育会議ニューズレター (20)

# とらいあんぐる菅生

1999年5月26日(水)  
発行 菅生中学校区  
地域教育会議  
編集 広報委員会  
事務局 菅生小学校  
TEL 977-0914

地域は元気

## 24歳の わかば祭

菅生こども文化センター

母の日の5月9日、日曜日、菅生こども文化センターのお誕生を祝う恒例の「わかば祭」が行われました。



三角の赤い屋根で知られる菅生こども文化センターは、24年前、この地域に住む幼児をもつ若い母親たちが、「こどもたちに文化を」という熱い願いをこめて行政に働きかけ、川崎市のこども文化センター第1号として開かれました。開館当時、まだ幼児だった子どもたちは今やお父さん、お母さんになって、再び自分の子どもを連れてこのセンターへ通い始めるほどの年月が流れたということです。

毎年5月には館の誕生を祝って、ここに集う大人のグループと職員で構成される実行委員会で「今年はどうなお祭りにしようか」と知恵を出し合います。中学生のリーダーたちもお祭りが近づくと、舞台のセッティングやテント張りなど縁の下の力持ちを発揮、地域の住民たちと一緒に力を合わせてお祭りを盛り上げます。

当日は五月晴れ。オープニングは学童保育に通う子どもたちの八丈島太鼓の力強い演奏でスタート。会場は一瞬、「さあ始まるぞ」という緊張に包まれ、準備に大わらわのおじさん、おばさんも舞台に注目。小学生の女の子たちのリズムカルなジャズダンスなど、舞台では次々と華やかに出し物が続く間も、この日を楽しみにし

てきた子どもたちが続々と集まってきます。

おじさんに教わりながら作る竹ぼっくり、お馴染みのカレーや焼そば、ラムネ、綿あめ、わかば祭名物のちまき、手作りコーナー、紙芝居に人形劇コーナーと子どもたちは思う存分楽しむことができます。「今年は例年よりも子どもたちの参加が多い」という声も。

法政大学で社会学を教えている立柳聡さんは、「菅生では社会教育をベースにした活動が展開されていることがよく分かる。子どもたちが育って、そして今担い手となり活躍している。昔、村にあったような一つの文化になっている。子どもを安全に楽しませるカタチの福祉は長く続かない。菅生は、児童館に集う住民グループと館の職員が一体になってお祭りをてがけてきた先駆者。これからもずっと気にかけていきたい」と感想を話していました。

閉会に際して、実行委員長丸山幸一さんは「来年は25回目節目の年。翌26回目にはセンターの庭に埋めてあるタイムカプセルを開けるのが楽しみです」と。地域の子どもの大人まで幾重にも層になって共に一つのことを成し遂げ、楽しむ、これが元気の源かも。



# 太陽と水と大地の恵み 自然を大切にしよう!!!

## ドジョウすくいができるように



貴重な自然を 21 世紀へ末永く守り通していきたいと活動を続けている「とんもり谷戸の自然を守る会」の第 3 回報告会が、去る 3 月 21 日初山幼稚園大ホールにおいて開かれました。

当日は、活動報告のほか、白幡台小学校児童による研究発表、明治大学地球環境計画研究室の学生による研究発表や明治大学藤沢和教授を囲んでの話し合いもありました。市議の矢沢博孝さんは「子どもたちが、自然とふれあい遊べるように、また昔のようにドジョウすくいができるように、太陽と水と大地の恵みによる自然の循環サイクルを大切にしていきたい」という思いを語られました。



## ホタル・メダカを放流

事務局の高木さんの話によると、昨年度は谷戸の下草刈りや清掃を始めとして、コナラ 150 本を初山神社跡地に植樹したり、クヌギを畑に植樹、ホタルやメダカ・タニシの放流、尾瀬片品村との交流など活動は充実そのもの。また、日立市からの団体なども、とんもり川・親水公園を見学に訪れました。

昨年 6 月に平瀬川に設置された看板は、尾瀬片品村の風景修繕工房「モリ・モーリ」さんに制作を依頼したもので、枠のない自然なデザインが特徴です。板材は樹齢 250 年のヒバ、柱は水に強く腐食しにくい栗の木を選びすくって

使っているのでも 50 年は大丈夫ということです。今年も引き続き、尾瀬片品村との親睦交流会や谷戸の下草刈り、小川の清掃、竹炭焼きなどが予定されています。6 月末には夜の自然観察会があるということで、うまくいけばここでヘイケボタルが見られるかもしれません。

めずらしい植物を山に戻す活動もあるのですが、公にすると取りに来る人がいるそうなので、残念ながらここではご紹介できません。

## 地域の人々の熱い思い

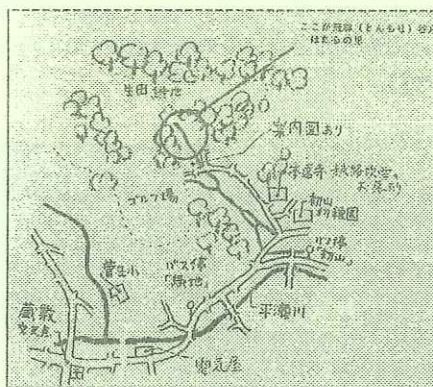
純粋無垢な子どもたちの求めるもの、大学における研究の貴重な資料がここにあります。そしてなによりも地域の人々の熱い思い入れが「とんもり谷戸」にはあるのです。この日の報告会はそれをよく伝えていたと思います。

ところでみなさん! 「とんもり谷戸の自然を守る会」は決して堅苦しい会ではありません。菅生の貴重な自然の宝庫を大切にしていこうという人々の活動です。よろしかったらみなさんも参加してみませんか? 会では「来るものは拒まず」だそうです。



とんもり谷戸

菅生中学校区  
冊子表紙より



加藤晴香さん(白幡台小4年)の研究発表

## わたしの好きなさんぽ道・とんもり谷戸

晴香さんは「ジャガイモ学校」に参加して、ジャガイモがどうなっているか見に行くうち、とんもり谷戸の自然に興味をもち、自然観察会やとんもり谷戸で出会った人に聞いたり、自分で見たり調べたり写真を撮ったりしたものをもとめました。入り口から「ふるさとのこみち」までを地図にして、生えている植物や昆虫、遊びに来る野鳥、初山神社跡など谷戸のようすを細かく説明しています。植物を集めてパウチしたもので「押し花カルタ」も作りました。(作品は会で保存)

## ゆるる植物がサワサワして

この発表のなかで晴香さんは「ここは静かで、遠くで鳥やセミの声がして風が気持ちいい。ゆるる植物の音がサワサワとして、トンボがたくさん飛び回る姿がきれいです。ここに散歩に来る人は知らない人でも『こんにちは』とあいさつしてくれます。ここは本当に気持ちいい場所です。いつまでもこの自然を大切にしていきたいです」と話しています。

## 明治大学学生による研究

### ○平瀬川支川流域における雨水の透水面確保に関する研究

- ・この 30 年間の平瀬川流域における土地利用図・河川の整備
- ・昭和 41 年～平成 10 年の比較
- ・土地利用ごとの雨水の浸透率
- ・今後農地緑地を残すため、透水化によってみこまれる機能について

### ○多自然型川づくりに関する研究

- ・水質調査・割栗石で堰をもうけることによる、生物環境の観察
- ・落ち葉のカビによる水質汚染の判定
- 飛森川の水質は良好

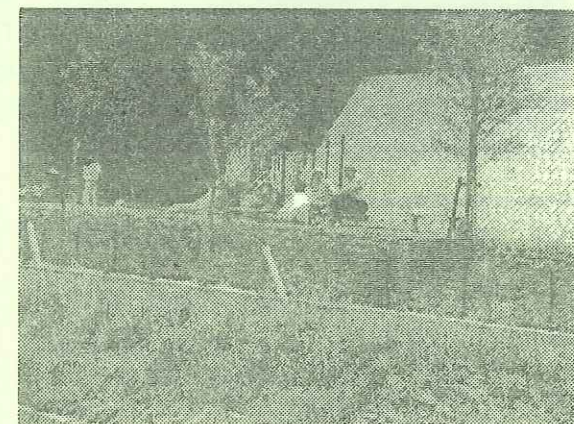
### ○川崎市宮前区周辺におけるホタルの生息環境条件に関する研究

- ・ホタルの放流とホタルの発生率の調査
- ・平瀬川の状態(水質・推進・流速・川幅・川底・川岸・断面)調査

※紙面の都合上、項目のみとさせていただきます。

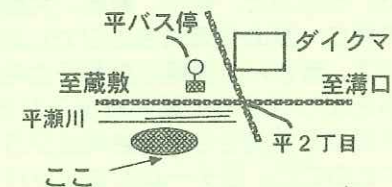


## 「ほっ!」とスポット 平四丁目公園



平バス停近くの『平四丁目公園』。今年 2 月にオープンした。地元の要望で、敷地上部 3 分の 1 ほどを雑木林のまま残し、下部を広場とした。

バス通りとは平瀬川が隔てているため、車の心配もなく、子どもたちも安心して遊べる。大人も一息つける緑に囲まれたスポット。



## お知らせコーナー

### ○菅生こども文化センター 976-0444

- ☆輪車教室 6/9(水) 30(水) 3:00 pm~
- ☆ウクレレ教室 6/19(土) 26(土) 2:00 pm~
- ☆図書貸出し 毎週水曜日

### ○蔵敷子ども文化センター 977-2577

- ☆映画おたのしみ会 6/9(水) 7/7(水) 3:00~4:00 pm
- ☆ぞうさんまつり 6/12(土) 6/1より前売チケット発売
- ☆おしゃべりハンド 6/3(木) 17(木) 3:00~4:00 pm 会費 50 円/月

☆エコちゃんクラブ 6/16(水) 2:00~3:30 pm

### ○宮前市民館菅生分館 977-4781

- ☆地域セミナー「向ヶ丘地区生活文化探検」6/29(火) ~毎月第 2・4 火曜日 10:00 am~12:00 pm 平成 12 年 3 月まで 受付 6/15(火) 午前 10:00~
- ☆夏休み子ども科学工作教室 ペットボトルロケット他 7/24(土) 29(木)、8/7(土) 19(木) 10:00 am~3:00 pm 参加費 2500 円 受付 7/17(土) 2:00 pm~ 直接来館(共催 蔵敷こども文化センター)
- ☆夏休み子ども料理教室 手づくりぎょうざとわらび餅 7/30(金) 1:30 pm~4:30 pm 対象 小学生 20 名 参加費 300 円 受付 7/22(木) 10:00 pm ~<電話にて先着順>

### ○菅生中学校 977-8787

- ☆授業公開週間 5/31(月)~6/4(金)
- ☆国際理解教育(米中学生のホームステイ) 6/11(金)~6/19(土) 川崎市の姉妹都市ボルチモア市(米国)の中学 3 年生女子 3 名が、菅生中の生徒宅でホームステイをすることになりました。滞り期間中、さまざまな日本の伝統文化に触れます。
- 募集! 日本の伝統文化(お茶、生け花、折り紙、お手玉など)を指導して下さる方を募集しています(5/27まで)

### ○菅生小学校 977-0914

- ☆自転車教室 6/1(火) 対象は 3 年生

### ○稗原小学校 976-4557

- ☆運動会 5/30(日)